

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

平成23年第44週(10月31日～11月6日)

1 五類定点疾患週報情報

No.	疾患名	週間報告数	定点当り	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当り	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	7	0.06	5.03		10	百日咳	3	0.04	0.07	
2	RSウイルス感染症	63	0.88	0.42	↗	11	ヘルパンギーナ	6	0.08	0.07	
3	咽頭結膜熱	21	0.29	0.35	→	12	流行性耳下腺炎	47	0.65	0.50	→
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	108	1.50	0.92	↗	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	感染性胃腸炎	235	3.26	5.49	→	14	流行性角結膜炎	18	0.95	0.79	↗
6	水痘	137	1.90	0.86	↗	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	91	1.26	0.13	↘	16	無菌性髄膜炎	1	0.05	0.02	
8	伝染性紅斑	30	0.42	0.08	↗	17	マイコプラズマ肺炎	12	0.57	0.27	→
9	突発性発しん	34	0.47	0.51	→	18	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当り)

※2 鳥インフルエンザを除く。

※3 オウム病を除く。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹
疾患No.	1	1～12	13, 14	15～18
定点数	43	72	19	21

発生記号(前週と比較)

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

【警報・注意報発令状況】

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
水痘	7	4	4	警報発令! (H23.11.10発令)	1.10	2.50	2.11	10.00	1.42	1.25	0.73
咽頭結膜熱	3	1	—	警報発令中 (H23.9.8発令)	0.10	1.83	0.11	1.25	0.08	0.00	0.09

注) 原則として、警報は県内いずれかの保健所管内で警報開始基準以上となった場合に発令し、すべての管内で警報継続基準未満となった場合に解除します。

● 水痘については、平成23年11月4日に注意報を発令しましたが、第44週に北部保健所管内で定点当たり10.0と警報開始基準以上となり、流行が拡大する可能性があるため、平成23年11月10日に警報を発令しました。

● 流行性耳下腺炎について、平成23年10月28日に注意報を発令しておりましたが、平成23年11月10日に注意報を解除しました。

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

● 急増減疾患 なし

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし								
二類	26	結核	26	2	1	2	1	9	7	4
三類	0	発生なし								
四類	5	つつが虫病	2	1				1		
		日本紅斑熱	2							2
		レジオネラ症	1	1						
五類全数	2	急性脳炎	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、安芸高田市、安芸郡、山県郡、江田島市

西部東…竹原市、東広島市、豊田郡

北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/hec/hidsc/index.html>